

baseclick社はクリック反応を応用したラベリング試薬、およびRNA、DNA、ペプチドにクリック反応基を導入する試薬を販売しています。生命科学において、銅触媒を用いたアジドとアルキンとの環化付加反応（Cu-Catalyzed Azide Alkyne Cycloaddition：CuAAC）を利用した手法が注目されています。簡単な実験操作に加え、アジドやアルキンが生体内には存在しない（bioorthogonal）官能基であること、かつ水中でも問題なく進行し、無数に共存する生体分子の存在下であってもほとんど阻害されないことにより、生体分子の化学修飾に信頼して利用できます。

【紹介製品】

▶ クリック反応用修飾分子

ビオチン修飾、組織送達分子修飾

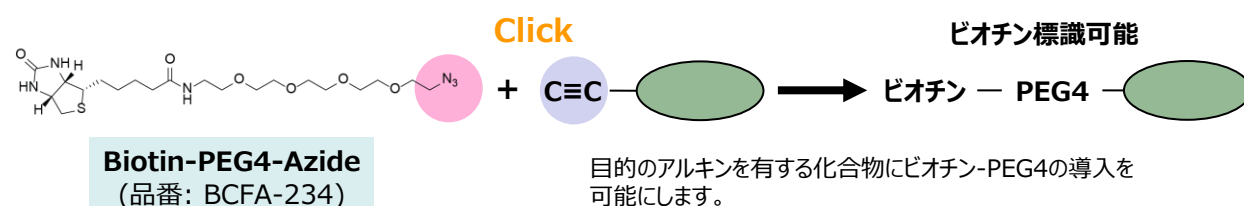
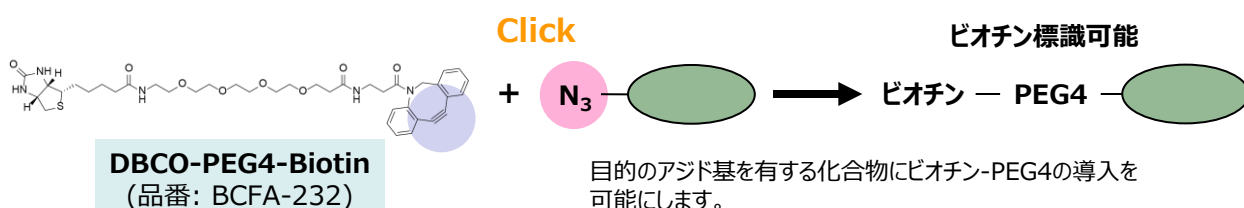
▶ クリック修飾試薬

修飾ヌクレオチド、キャップ構造分子

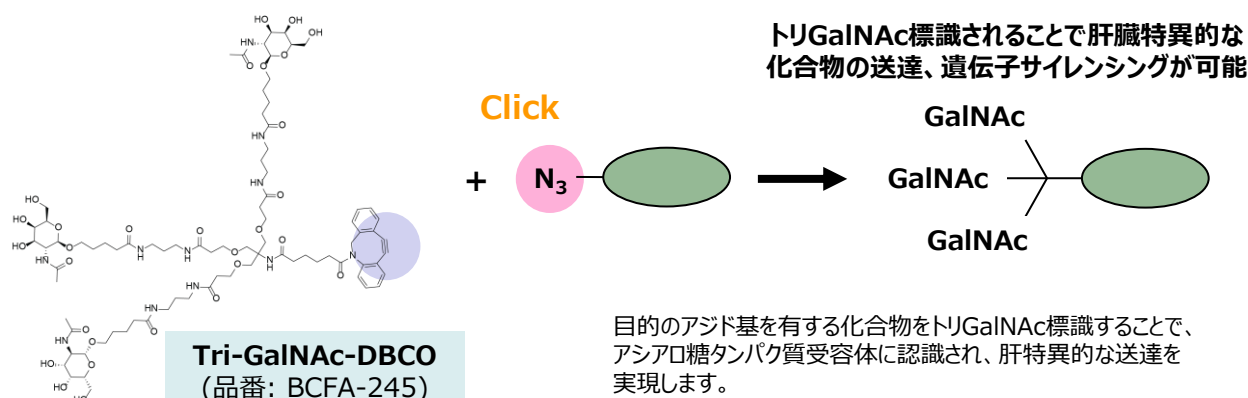
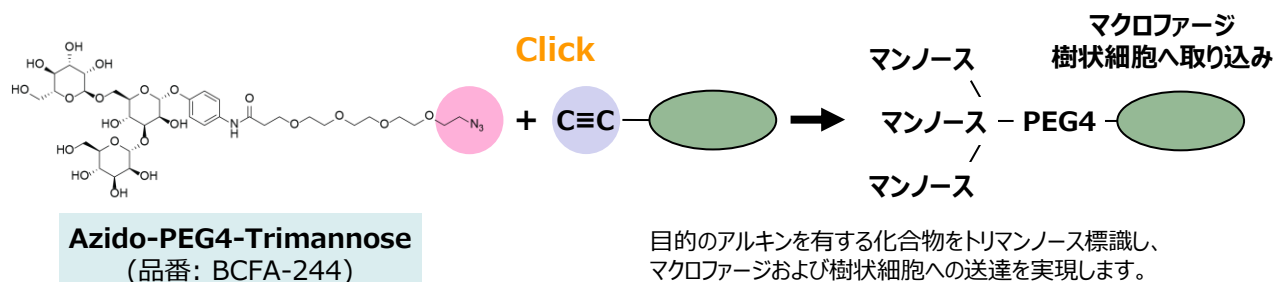
クリック反応用修飾分子

ビオチン

【クリック反応用修飾分子】
その他製品の取り扱いもございます。

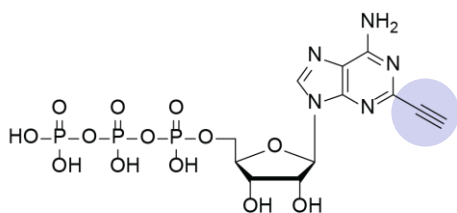


組織送達分子

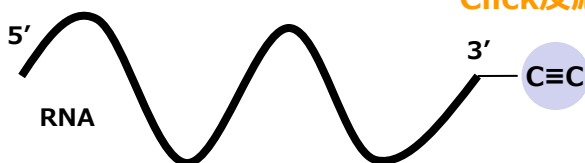




修飾ヌクレオチド

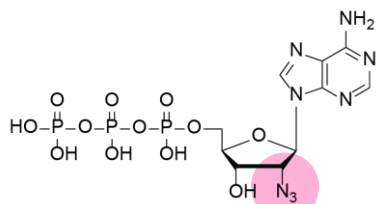


2-Ethynyl-ATP
(品番: BCT-30)



Click反応可能！

polyAポリメラーゼや末端デオキシヌクレオチジルトランスフェラーゼ (TdT) によりRNA配列の3'末端にアルキンを導入可能です。



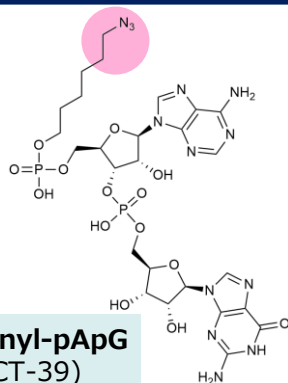
2'-Azido-2'-dATP
(品番: BCT-34)



Click反応可能！

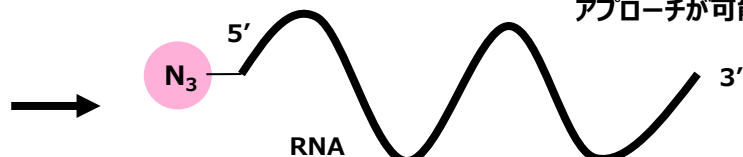
polyAポリメラーゼや末端デオキシヌクレオチジルトランスフェラーゼ (TdT) によりRNA配列の3'末端にアジド基を導入可能です。

キャップ構造分子



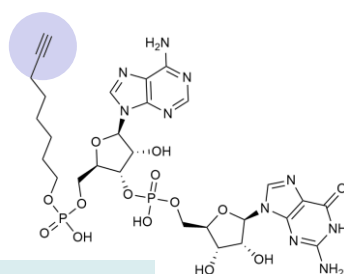
Azido-hexynyl-pApG
(品番: BCT-39)

Click反応可能！



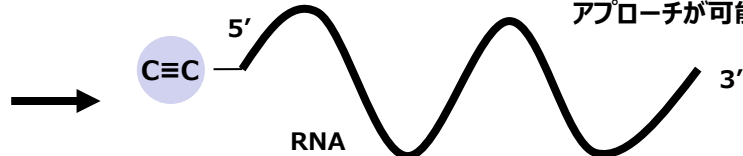
3'末端への
アプローチが可能！

in vitro転写中にmRNA配列の5'末端にアジド基を導入可能です。
5'末端を標的とすることで3'末端へ別のアプローチが可能になります。



Alkyne-C8-pApG
(品番: BCT-41)

Click反応可能！



3'末端への
アプローチが可能！

in vitro転写中にmRNA配列の5'末端にアルキンを導入可能です。
5'末端を標的とすることで3'末端へ別のアプローチが可能になります。

【お問い合わせ・お見積り依頼】
その他製品の取り扱いもございます。
フィルジェン試薬機器部までお気軽にお問い合わせください。

製品ページは
こちら



※本製品は研究用です。医療・診断用途ではご利用いただけません。掲載の製品情報は、予告なく変更される場合があります。

フィルジェン 株式会社



【お問い合わせ】 試薬機器部

TEL : 052-624-4388 FAX : 052-624-4389

E-mail : support@filgen.jp URL : https://filgen.jp/

代理店

(Aug. 2026)